

# 日帝・小泉海上保安庁の 独島略奪策動を弾劾する

## 独島(「竹島」)は朝鮮の領土だ

### 測量船を待機 させ屈服迫る

日帝・小泉政権が朝鮮

領・独島(トクト、「竹島」)に対する許しがたい軍事挑発に踏み込んだ。日帝・海上保安庁は、4月19日から22日にかけて、独島

周辺でいわゆる排他的経済水域(EEZ)だと称して測量調査を計画し、強行しようとした。

これは新たな領土略奪・朝鮮侵略の攻撃そのものである。帝国主義的領土略奪、国益主義・排外主義の攻撃として、日帝がついに

踏み込んだ軍事挑発、戦争挑発としてわれわれは満腔(まんこう)の怒りをもって弾劾する。同時に、日韓労働者の国際連帯と共同闘争で、日帝の独島略奪と排外主義攻撃を粉碎し、米日帝の北朝鮮・中国侵略戦争を阻止するために闘うこと

を宣言する。

4月19日、海上保安庁の測量船「明洋」と「海洋」が鳥取県の境港に入港、待機態勢に入中、日帝・小泉政権は韓国側の反応次第では20日にも調査を始めるという強硬姿勢で韓国に譲

りを噴出させる朝鮮人民の

25日に韓国盧武鉉(ノムヒョン)大統領は「日本が独島に対する権利を主張することは韓国の完全な解放と独立を否定する行為」と物理的挑発には断固対応する」と表明。これは日帝の軍事行動にすぎない怒りを噴出させる朝鮮人民の

闘いによって押し出された

発言だ。小泉首相の靖国神社参拝や「つくる会」教科書をめぐるアジア侵略戦争と植民地支配を肯定し、再び侵略戦争を構える日帝の軍事挑発に、昨年来の朝鮮人民の怒りが沸騰しているのだ。

この朝鮮人民の怒りに麻生外相は「歴史問題とは関係ない。領有権の問題だ」(25日、参院外交防衛委)と居直り、小泉・安倍は「(韓国に)冷静な対応を望む」などと盗人たけだけに言い放ったのだ。

これが軍事挑発でなくてはならないのか! 韓国側の対応いかんで日本海に展開する海自の巡洋艦がいつでも急行するという一触即発の事態だった。この時、舞鶴沖では自衛隊の軍事演習中だったのだ。

小泉政権と海上保安庁は今回、6月のドイツでの国際会議で韓国が独島周辺の日本名の海底地形を韓国名に変更する動きをみせていることを口実に、海洋調査を突如設定し、測量船2隻を境港に待機させる挙に出

「合意」が成立した。日帝も調査を中止すること

『日帝の今回の海洋調査の狙いは、歴史的にも国際法にも完全に朝鮮領であり、韓国が現に実効支配する独

島を「日本固有の領土」と強弁し国際問題化して、新たに独島略奪策動を強めることにあったのだ。

### 1905年に 略奪閣議決定

130年前の1875年に、日本の明治絶対主義政府は測量名目で江華島沿岸に雲揚号を出し、朝鮮に江

華島条約を押しつけ、植民地支配の足掛かりをつくった。そして歴史上初の帝国主義戦争だった日露戦争の

ただ中で、100年前の1905年、独島を「日本領土」と閣議決定して島根県に編入した。独島を歴史的に略奪したのだ。

日帝は日露開戦と同時に、韓国に「日韓議定書」

を強要し、事実上の「属国」とした。以降、1904年8月「第1次日韓協約」、1905年11月「第2次日韓協約」(乙巳保護条約)、1907年7月「第3次日韓協約」と、韓国の内政も外交もすべて奪

つていき、1910年の韓国併合で植民地化を完成した。まさに1905年の独島略奪こそ日帝の朝鮮植民地支配の起点であり、朝鮮人民にとって「屈辱の象徴」なのである。

重要なことは、日本は江戸時代と明治時代に、二度にわたり「竹島」の領有を否定していることだ。

は、鬱陵島に渡った日本人から島の開発申請が出されたことに対し、明治政府は鬱陵島ほか1島(竹島)は「本邦とは関係ない」という太政官決定を下した。日本は領有を一度も主張してはいない。

他方、1900年に大韓帝国の勅令で鬱陵島を韓国領と宣言し、属島の「石島」(独島)を管轄するとした。この時点で独島の韓国領有は国際的にも確定していたのだ。

こうした歴史的・国際法的関係を逆転させ、日帝が独島を略奪し、朝鮮植民地支配の転機となったものこそ、1905年の閣議決定だったのだ。

は、1946年の二つの「覚書」で、「竹島」への日本の行政権を停止し、日本漁船の操業区域から「竹島」を除外している。

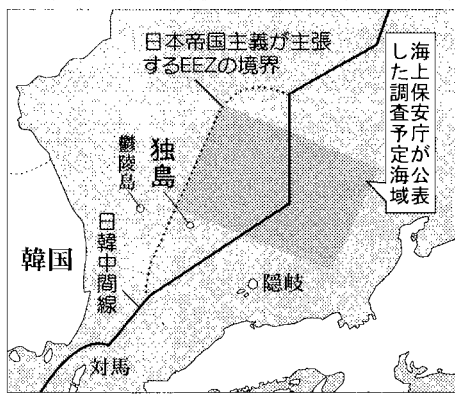
このように独島は朝鮮領はあらゆる意味で明白だ。

今回の独島周辺の自称EEZ海域での測量と独島略奪の策動は、米日帝の北朝鮮・中国侵略戦争、米軍再編の攻撃と一体であり、9

日韓労働者の国際連帯と共同闘争でこの朝鮮侵略攻撃を粉砕しよう。

日韓労働者の国際連帯と共同闘争でこの朝鮮侵略攻撃を粉砕しよう。

日韓労働者の国際連帯と共同闘争でこの朝鮮侵略攻撃を粉砕しよう。



海上保安庁が公表した調査予定海域

日本帝国主義が主張するEEZの境界

独島、鬱陵島、日韓中間線、対馬、隠岐、韓国